

## 平成 23 年三条市議会第 4 回定例会請願文書表

受理番号	第 20 号	受理年月日	平成 23 年 9 月 9 日
件名	自然エネルギーの開発と普及を行い、原発からの撤退を求める請願		
紹介議員	西川哲司君 武藤元美君		
<b>請 願 文</b>			
<p><b>【請 願 理 由】</b></p> <p>去る 3 月 11 日に発生した東日本大震災によって福島第一原発が重大な事故を起こしてから半年近くになりますが、事態はいまだ収束のめどが立っていないとともに、放射性物質による被害が続いています。また、原発周辺で生活する 10 万人以上の住民が避難を余儀なくされ、農水産物の生産や出荷など地域経済に重大な被害を与えています。</p> <p>世界では既に、原発から太陽光を始め風力、波力、バイオマスなど自然エネルギーへの転換が図られています。日本のエネルギー政策は大きく立ち後れています。原発事故から国民の命と暮らしを守り、未来に向かって希望が持てる国にしていくために、政府は自然エネルギーの開発を進め、プログラムを決めて原発から撤退すべきです。</p> <p>世界有数の地震国日本は、原発の立地条件が悪く、また、原発技術は未完成で危険であり、放射性廃棄物の処理方法が確立していないなど問題点が多いため、政府は現状を厳粛に受け止め原発からの撤退を決断し、自然エネルギーの開発と普及、促進、低エネルギー社会への移行に全力を挙げるよう求めます。</p> <p>ついでに、貴議会において、次の事項を求める意見書を国に提出して下さるよう請願いたします。</p> <p><b>【請 願 事 項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国民の命と暮らしを守るために、政府は自然エネルギーの開発を進め、原発から撤退するプログラムを策定すること。</li> <li>2 太陽光、小水力、風力、木質バイオマスなど自然エネルギーの本格的導入、自然エネルギーの開発と普及を積極的に進めること。</li> </ol>			

付託委員会

市民福祉常任委員会